

大鳴門橋・僧津山トンネル見学バスツアー 報告

日 時：令和6年11月16日（土）9時30分から17時

参加者：64名（うちスタッフ9名）

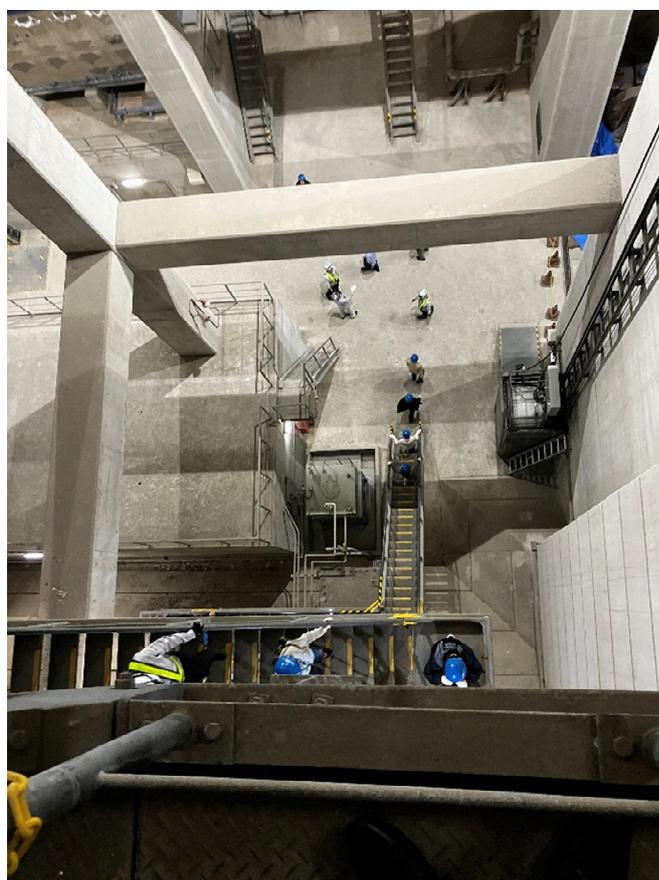
行程（A班）：徳島大学（徳島市） → 大鳴門橋（鳴門市） → 道の駅くるくるなると（昼食）
→ 僧津山トンネル工事現場（徳島市） → 徳島大学（徳島市）

当日の午前は曇り、午後が雨と残念な天候でしたが、無事に開催することができ、お申込みいただいた55名の皆様にご参加いただきました。AB2班に分け、大鳴門橋と僧津山トンネル工事現場を見学しました。A班の午前は大鳴門市の本州四国連絡高速道路（株）鳴門管理センターの担当者の案内で、大鳴門橋の現状、自転車通路の新設などの説明を受け、通常立ち入ることのできない、アンカレイジの内部や点検通路を見学しました。そして「渦の道」に合流し、鳴門海峡を展望しました。昼食は「道の駅くるくるなると」を利用しました。午後は徳島市の国道192号南環状道路で工事中の「僧津山トンネル工事現場」を見学しました。施工者の戸田建設（株）の担当者からは最初にトンネル工事の掘削工法であるNATM工法について模型を使った説明がありました。また、本現場で力を入れている職場環境改善の取り組みについて説明を受け、トンネルの内部を案内いただきました。建設機械の乗車体験や保護シートへの記念の落書き体験、切羽での集合写真撮影など、見学者には普段目にする事のないトンネル内部を見学できたと好評でした。B班は、A班とは逆の順番で、午前に僧津山トンネル工事現場、午後到大鳴門橋を見学しました。

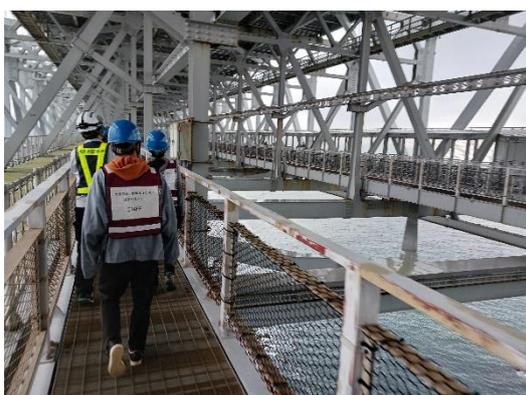
大鳴門橋見学コースの説明



アンカレイジ上部からの眺め



点検通路の眺め



アンカレイジでの記念撮影



大鳴門橋の下での記念撮影



模型を使ったNATM工法の説明



僧津山トンネル入り口



保護シートへの落書き体験



大型ホイールローダーへの乗車体験



最新ドリルジャンボへの乗車体験



切羽前での記念撮影

